



 SAKUMA & CO.





一年中、「春」のような
木漏れ日の家。
衣替えの無い快適な毎日。

意匠設計から構造設計までこだわった
用の美の建築。
快適で樹の香りが広がる空間に
木漏れ日のような優しい光が射し込みます。

創業 65 年以上だから 65 年保証
半世紀先の次世代の家造りです。

「性能の見える化」

耐震、省エネ、目には見えない性能を
可視化します。

全棟「長期優良住宅」

●耐震性能:3 等級 (最高等級)

●省エネ性能:U A 値 0.50 Z E H 水準

国土交通省の認定を受けた住宅です。

地域に根差して 70 年の経験から導き出した、

ピッタリはまる断熱性能。

メリハリのある大開口の窓が特徴的です。

「全館ヒートポンプ式冷暖房システム」

風のない、輻射熱による

ストレスフリーの冷暖房システム。

輻射熱なのでじんわり身体に浸透します。

「パネルシェード」

夏は鍾乳洞にいるような、ひんやり涼しい居心地。

冬は暖炉を囲んでいるような温もりが身体を包んで
くれます。

芯から温まるので、体が冷めにくい、サウナに入っ
たような” ととのう” 感覚です。



[外観デザイン]

佐久間では、素材感を大事にしております。

外観に仕様する仕上げは全て本物を使用します。

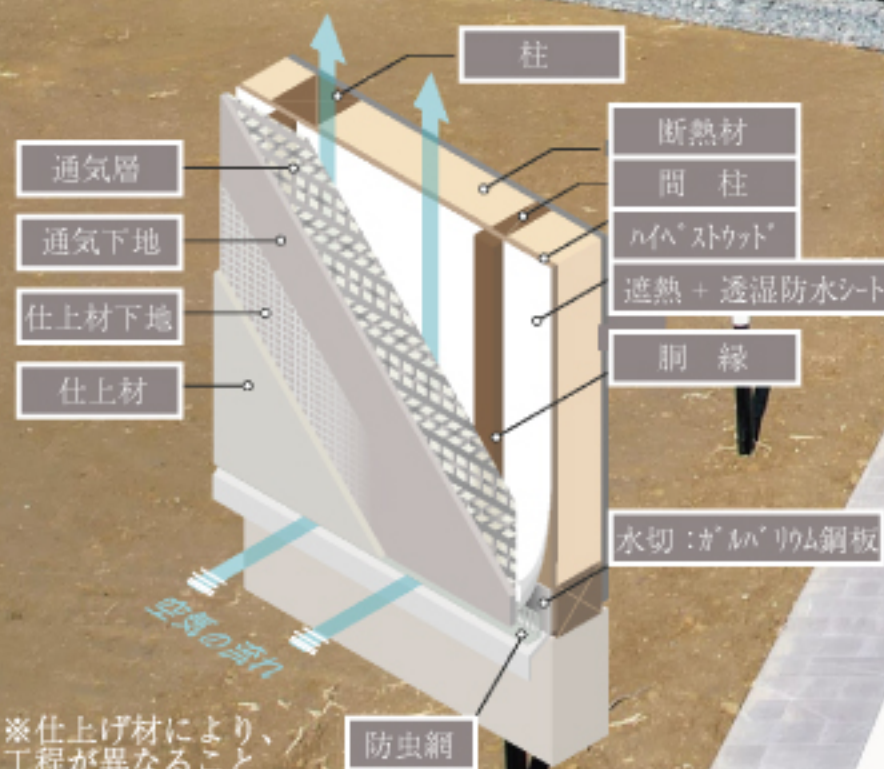
金属ならガルバリウム鋼板、塗壁なら天然の珪石を
こうすることで、継ぎ目をコーキングでカバーする
ような工法を避け、漏水や脱着事故といった問題から
リスクヘッジしております。

[外壁構法]

65年以上の経験から、絶対に事故が起きないといっ
た考え方をせず、事故が起こった際、最小限の被害
で防ぐよう、壁の細部までデザインしております。

外壁に通気層を設け、その先に遮熱+透湿防水シート
を施工することで、室内の湿気を逃がし、外壁に溜
まった熱を通気層を通して遮熱することで直接室内
へ伝えません。

佐久間は“遮熱+断熱によって家を守ります”



[内装デザイン]

内と外とを繋ぐ空間デザイン。

同じ空間でも、

- ・構造材の梁や登り梁を現し仕上げに。
- ・間接照明を取り入れる。

といった構造設計と照明設計をすることで、
より奥行のあるゆとりのある生活環境となります。

[内壁工法]

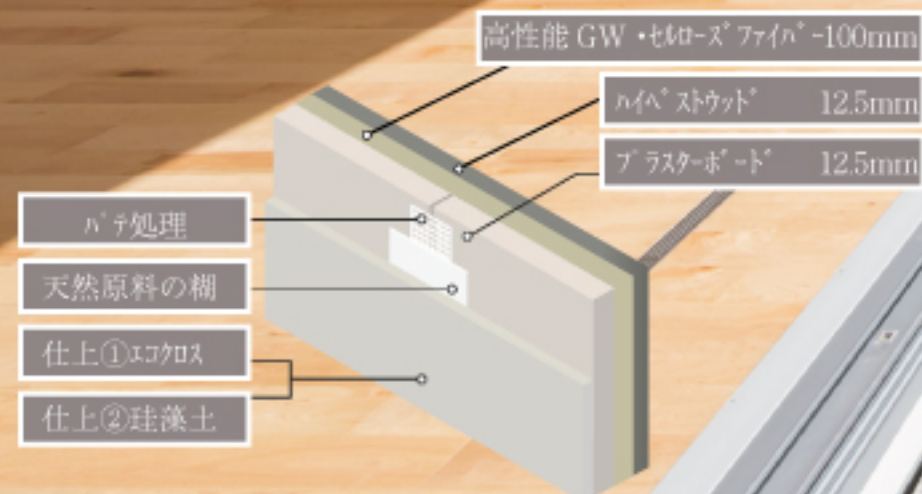
快適な環境には温度だけではなく湿度も重要です。

そのため、耐力壁には合板ではなく、透湿性能の
高いハイベストウッドを採用しております。

そして、仕上げ材にはエコクロスか珪藻土。

こうすることで、締め切りの空間であっても、外
壁の通気層から透湿防水紙を通して、湿気が抜け
ていきます。

内部結露といった事故が起きた際も、湿気が抜け
ていくので、内部の部材が腐るといったリスクを
極限まで軽減することが可能です。



※仕上げ材により、工程が異なる
場合がございます。

〔窓（サッシ）の考え方〕

断熱性能ではオール樹脂が優位なのが現状です。

しかし、強度・耐久性という点においては
金属＋樹脂の複合窓（サッシ）の方が強いという
利点があります。

将来の窓枠の撓みや歪みのリスクは
オール樹脂窓（サッシ）の方が高いと言えます。

佐久間ではメリハリの設計から大断面のサッシを用
いることが多いので、断熱性能を計算し、時には組
み合わせながら窓（サッシ）の選定をおこなっておりま
す。

〔遮音性〕

佐久間では、建物の遮音性能にもこだわります。

これまで多くのオーディオルームや音楽室を設計施
工してきた経験から、細かい注文にも答えることが
できます。

ガラスの厚みを変え、ラミシャットガラスを選択し、
特注の窓を制作したり、断熱材や仕上げ材の厚みや
重量の変更など、その用途に合わせて対応します。



The image shows the interior of a modern church. The most prominent feature is the high, vaulted ceiling, which is constructed from a complex network of light-colored wooden beams. These beams are arranged in a series of overlapping, crisscrossing patterns that create a sense of depth and structural complexity. Integrated into these wooden beams are long, thin, horizontal light fixtures that emit a warm, golden glow. The walls are white and feature large, narrow windows on either side of the central altar area. The floor is made of light-colored wooden planks. In the center of the room, at the far end, is a simple wooden altar table. Above the altar, a large, vertical, rectangular window allows natural light to enter. A black cross is mounted on the wall above the altar. The overall atmosphere is one of modernity and warmth, with a focus on natural materials and light.

〔構造躯体・材料選定〕

佐久間では、構造躯体を全て国産材とし、構造躯体を意匠として魅せていくことのできる材料を選定しております。

見えない部分だからこそ、手を抜いてはいけません。これは先代から続く、佐久間の伝統です。

国産材の魅せる色鮮やかな木々が、年輪を刻むように深みを増して落ち着いた色合いに変化していきます。

[plan01 コートハウス]

住宅街にプライベートな中庭。

1階を居室、2階をLDKとすることで
明るく開放的なリビングになりました。

中庭側には光を遮らない
ルーバーと植栽を配置し、
人の視線を感じさせません。



建築面積：62.10 m²

延床 1F: 56.31 m²

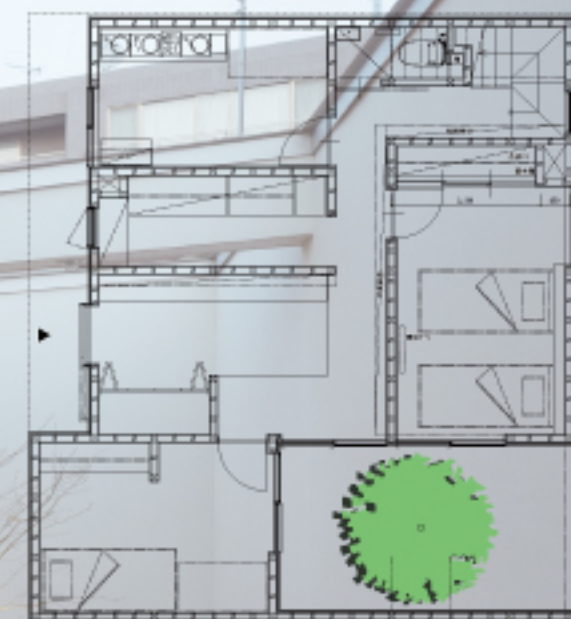
2F: 52.17 m²

計: 108.48 m²

長期優良住宅

耐震性能 3 等級

躯体：国産材 100%



※写真は別パターンです



「職人」
代々、腕を磨いてきた大工棟梁を筆頭に、
20年以上の経験を積んだ匠が揃っております。
図面や材料がどんなに良くとも、最後にそれを
仕上げる職人が未熟であれば、満足いくべきには
到底至りません。
一貫して取り組んできたからこそ分かる、
「職人の技と粋」
遊び心のある行き届いた納まりが魅力です。



創業者 佐久間 勝 (1914 ~ 1994)

若き頃、主婦の友社のコンペに入賞

徴兵され、軍属として中国(満州)に渡り、施設建設に従事。

敗戦によりシベリア抑留を経て、

日本の復興を誓い、佐久間工務店を設立。

【温故創新】

温故知新から温故創新へ

古くからの教えに学び新しい知識や見解を啓くことはもちろん、
そのうえで新しいものを創造し続けていく。

常にイノベーションを感じさせる会社でありたい。

それが佐久間工務店のテーマです。

Company info

■商号 株式会社佐久間工務店
株式会社佐久間工務店一級建築士事務所

■所在 〒263-0014
千葉県千葉市稲毛区作草部町 1349-1
TEL 043-254-4511
FAX 043-253-2319

■創業 昭和 32 年 10 月

■資本金 20,000,000 円

■営業種目 建築一式総合建設業・建設設計監理
不動産の売買・交換の仲介およびこれに付帯・関連するコンサルティング業務

■許可・登録 千葉県知事許可(特-3)第 000005 号
千葉県知事(2)第 16472 号

■代表取締役 佐久間 秀一

Production Cooperation

■匠 鈴木 信彦
鹿倉 寛之
末吉 大樹
中山 伸一

建匠舎

株式会社メガステップ
ゲーテハウス株式会社

アトリエ 24 一級建築士事務所
JYU ARCHITECT 充総合計画一級建築士事務所
有限会社富岡建築計画事務所



